

Hara Museum of Contemporary Art

トヨダ ヒトシ 映像日記・スライドショー

2015年8月13日 [土]・14日 [日] 原美術館 (中庭) [東京・品川]



[図版1]

プリントでも写真集でもなく、35mm フィルムによるスライドショーという形式でのみ発表を続ける写真家・トヨダ ヒトシが、原美術館中庭で二夜限りの上映を行います。自ら操作するアナログの映写機から現れては消えるイメージの連なりは、一人の写真家が生きてきた時間の軌跡をいきいきと描き出します。

「闇に挟まれながらスクリーンに現れる“像”は手を伸ばしても掴むことは出来ず、日々の中での失敗やよろこびのように、時間に押し流されて消えていく。」

かつてトヨダはこう書いています。スクリーンから消えていく写真と写真の間に立ち現れる心の動きや思いにこそ意味がある、と考える彼の映像日記は、ささやかな瞬間の愛おしさ、その連続こそが人生であることを、改めて私たちに教えてくれるようです。

今回は、新たに構成された映像日記作品「spoonfulriver」に加え、最近作「for Nine Postcards」を上映します。後者は、日本の環境音楽の第一人者、故・吉村 弘が生前撮影したスライド写真を、トヨダが氏とその音楽へのオマージュとして編んだ異色の作品です。1980年頃、風景の波動をとらえた新しい音楽を模索していた吉村は、現代美術館として開館したばかりの原美術館を訪れ、その佇まいや窓ごしに見た木々の眺めに感銘を受けたといいます。その後、原美術館の空間に広がる「音の風景」を試したいという吉村の希望を受け、完成した音楽を館内で流したことがきっかけとなり、初のアルバム『ナイン・ポストカード』（1982）が誕生します。このたびの上映は、吉村 弘の音楽とその生の輝きを、原美術館でもう一度再生する試みでもあるのです。

木々を揺らす風や蝉の声の響く真夏の夕べ、作家とともに新たな記憶を紡ぐひとときをぜひ味わってみてください。

Hara Museum of Contemporary Art

【上映作品】

■第一夜：8月13日（土） 19:15 開演

spoonfulriver ひと匙の河 2007-2016 / 70min. / 35mm slide film / silent



[図版2]

2005年、春先のニューヨークの平凡な道から始まる。忘れえぬ人に宛てた手紙のような。映像日記第五作。

川の眺め／このありふれた日／いくつかの旅をした／名もない出来事／グラーツ／残された言葉／今も／窓に映っていたのは／東京／想いを遂げることと幸せになることは同じではないのかもしれない／去ってゆくこと／集めた光／静かな／白い夢／ひと匙の河

■第二夜：8月14日（日） 19:15 開演

for Nine Postcards 2015 / 40min. / 35mm slide film / sound

*ポストパフォーマンストーク [14日（日）上映後、約30分]

水沢 勉（神奈川県立近代美術館館長）×トヨダ ヒトシ



[図版3]

日本の環境音楽の第一人者として知られる故・吉村弘の遺した約2,800枚のスライド写真の中からトヨダが選り構成した最近作。神奈川県立近代美術館委嘱作品。

彼が見た空があり、雲があった。冬枯れの樹があった。路面の傷。ことばがあり、遙かさがあり、鏡のような音があった。雨が降り、ひとり言のような詩があった。吉村弘という一人の人の生きたことの面影があった。

Hara Museum of Contemporary Art

【主催】 原美術館

【会場】 原美術館 中庭 *雨天時はホールにて開催。当日 11:00 までに、このサイトもしくは当館 HP にて発表。

*いずれも開演前に「みんな、うちのコレクションです」展をご覧頂けます (11 時-19 時頃/16 時 30 分以降はスライドショー参加者のみ入館可能/当日に限り半券ご提示で再入場可)

【料金】 一般 1,800 円 学生・原美術館メンバーとご同伴者 1 名まで 1,600 円 (予約制/当日精算/入館料込/全席自由)

*二夜共通券 一般 3,500 円 学生・原美術館メンバーとご同伴者 1 名まで 3,000 円

7 月 1 日 (金) 11:00 より 原美術館受付または予約専用メールアドレス toyoda-ticket@haramuseum.or.jp にて承ります。(お名前、ご希望日、枚数、日中連絡可能な電話番号、メンバーは会員番号)をお知らせください。

【作家略歴】



トヨダ ヒトシ (1963-)

写真家。1986 年の渡米をきっかけに独学で写真を始める。1993 年よりニューヨークを拠点にし、ブロードウェイ沿いの駐車場やチャイナタウンの公園、教会、劇場といったパブリックスペースにおいて、アナログのスライド映写機を自ら操作し上映するライブスライドショーという形式で、映像日記作品を発表しはじめる。2000 年より日本各地の美術館やギャラリーといったアートスペース、山奥の廃校になった小学校の校庭、三内丸山遺跡、米国各地の映画祭・芸術祭、また「ヨコハマトリエンナーレ 2014」などで上映を続けている。2012 年拠点を日本に移す。
<http://www.hitoshitoyoda.com>

吉村 弘 (1940-2003)

サウンドアーティスト。横浜市に生まれる。早稲田大学で美術を学んだのち、コンクリートポエトリーや図形楽譜を発表したほか、造形と音響を自在に組み合わせたサウンドインスタレーション作品や独創的な音具を用いたパフォーマンスなど、ジャンルを超えた作品づくりをする。駅やホテル、博物館など公共空間の音環境デザインも多く手がける。『都市の音』(1990)の著書、『ナイン・ポストカード』(1982)をはじめとする CD 多数。神奈川県立近代美術館のサウンドロゴ (2003) が遺作となる。没後、同・葉山館にて 2005 年「吉村弘の世界 音のかたち、かたちの音」展が開催された。



原美術館 東京都品川区北品川 4-7-25 〒140-0001

お問い合わせ Tel 03-3445-0651 (代) E-mail info@haramuseum.or.jp

<http://www.haramuseum.or.jp> Twitter <http://twitter.com/haramuseum>

【広報用図版】

ご希望の図版を下記担当者までお知らせください。トリミング、文字載せ等をご遠慮ください。

* 図版 2、3 につきましては、含まれている図版の中から個別のイメージをご提供することも可能です。

[図版 1]、[2] 「spoonfulriver」2007-2016 年 ©Hitoshi Toyoda

[3] 「for Nine Postcards」2015 年

取材・図版提供などのお問い合わせ先： 原美術館 広報 松浦、野田
Tel 03-3280-0679 Fax 03-5791-7630 E-mail press@haramuseum.or.jp
(いずれも広報直通/掲載時には代表番号・アドレスをお用いください)